

**記入例**  
(※「福岡の伝統工芸品」の購入、設置等)

令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

申請者 住 所 福岡県福岡市〇番地〇-〇  
名 称 株式会社〇〇工務店  
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
(自署又は記名押印)

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付申請書

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付要綱第7条の規定により、印類  
を添え、下記のとおり申請します。

押印又は署名 (自署)

記

1 補助対象経費等

対象施設：  宿泊施設  
(いずれかに✓)  オフィスビル  
 店舗  
 その他施設 (具体的に： )

対象事業：  A 「福岡の伝統工芸品」の購入、設置等  
(いずれかに✓)  B 建物等の内装等に用いる「福岡の伝統工芸品」の導入

対象経費： 2, 200, 000円

2 補助金交付申請額 1, 000, 000円

3 添付書類

対象事業	A 「福岡の伝統工芸品」の購入、設置等	B 建物等の内装等に用いる「福岡の伝統工芸品」の導入
	(1) 事業計画書 様式第1号の別紙1-1 (2) 収支予算書 様式第1号の別紙1-2	(1) 事業計画書 様式第1号の別紙2-1 (2) 経費内訳書 様式第1号の別紙2-2 (3) 収支予算書 様式第1号の別紙2-3
	(1) 利用同意書 (申請者が施主以外の場合) 様式第1号の別紙3 (2) 誓約書※ 様式第1号の別紙4 (3) 補助対象者の役員名簿※ 様式第1号の別紙5 (4) 確認書※ 様式第1号の別紙6 (5) 納税証明書※ (6) 購入品見積書 (写し) (7) 施工図面、完成予想図 (施工の箇所、数量等が分かるもの) (8) 現場写真 (建物外観、施工箇所等)	

※申請者が施主以外の場合は、申請者、施主の計2枚を提出すること

**【担当者連絡先】**  
部署名： 〇〇部〇〇課  
役 職： 〇〇マネージャー  
氏 名： 博多 花子  
電 話： 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
F A X： 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
E-mail： 〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇

施主 ※1	株式会社△△ホテル	
施主住所 ※1	福岡県北九州市△番地△-△	
購入品の設置場所	施設名	△△ホテル
	施設所在地	福岡県北九州市△番地△-△
施設の年間利用者数 ※2 (見込み)	10,000名	
購入予定工芸品名	博多人形	
購入品の概要	購入商品：①博多人形(作品名：□□、□□作) ②人形ケース 個数：①5個、②5個 規格：①博多人形：高さ80cm ②人形ケース：(内寸)40cm×40cm×90cm (幅×奥行×高さ)	
発注予定先	□□博多人形	
購入品の活用法 (具体的に記入してください。)	各エレベーターホールに1体ずつ(計5体)を人形ケースに入れて設置。 宿泊者を客室に案内する際に、従業員が作品の紹介等を行うことで博多人形 について知っていただく。 また、作品の横に作品の紹介、博多人形の歴史等を記載することで、宿泊者 だけでなく施設利用者にも博多人形について知っていただく。	
伝統工芸品の情報発信方法	自社ホームページ、館内しおりに購入品の紹介を掲載。 あわせて館内デジタルサイネージでも紹介。	
事業費(税込)	2,420,000円	
補助対象額(税抜)	2,200,000円	
補助申請額	1,000,000円	
実施時期	発注予定日	令和4年6月1日
	支払完了日	令和4年7月20日

※1 申請者と同じ場合は記入不要

※2 設置する空間がその他空間と明確に分かれているなど、当該空間の利用者数が個別に集計できる場合はその見込数を括弧書きすること

(注) 複数の工芸品を発注する場合は、別葉としてください。

収支予算書

記入例

1 収入 (単位:円)

区 分	予 算 額
県 補 助 金 (千円未満切り捨て)	1,000,000円
自 己 資 金	1,420,000円
合 計	2,420,000円

2 支出 (単位:円)

購 入 品	事 業 費 (税込)	補助対象額 (税抜)	補助金 交付申請額	備 考
博多人形 美人物 作品名: □□、□□作	2,200,000円	2,000,000円	/	
人形ケース	220,000円	200,000円	/	
			/	
			/	
			/	
			/	
			/	
			/	
合 計	2,420,000円	2,200,000円	1,000,000円	

※「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち補助対象となる経費（消費税抜き）を記載すること。  
 ※「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうちで補助金の交付を希望する額で、「補助対象経費」の合計に補助率を乗じた額以内（千円未満は切り捨てること。）とすること。

記入例  
(※建物等の内装等に用いる「福岡の伝統工芸品」の導入)

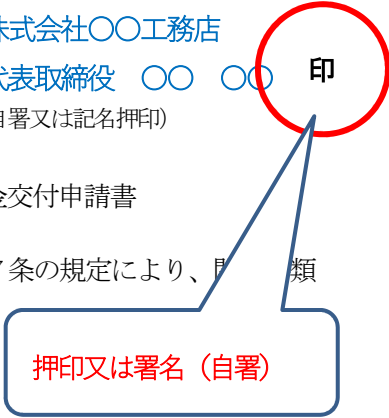
令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

申請者 住所 福岡県福岡市〇番地〇-〇  
名称 株式会社〇〇工務店  
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
(自署又は記名押印)

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付申請書

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付要綱第7条の規定により、  
を添え、下記のとおり申請します。



記

1 補助対象経費等

- 対象施設： 宿泊施設  
(いずれかに✓)  オフィスビル  
 店舗  
 その他施設 (具体的に： )

- 対象事業： A 「福岡の伝統工芸品」の購入、設置等  
(いずれかに✓)  B 建物等の内装等に用いる「福岡の伝統工芸品」の導入

対象経費： 10,000,000円

2 補助金交付申請額 5,000,000円

3 添付書類

対象事業	A 「福岡の伝統工芸品」の購入、設置等	B 建物等の内装等に用いる「福岡の伝統工芸品」の導入
	(1) 事業計画書 様式第1号の別紙1-1 (2) 収支予算書 様式第1号の別紙1-2	(1) 事業計画書 様式第1号の別紙2-1 (2) 経費内訳書 様式第1号の別紙2-2 (3) 収支予算書 様式第1号の別紙2-3
	(1) 利用同意書 (申請者が施主以外の場合) (2) 誓約書※ (3) 補助対象者の役員名簿※ (4) 確認書※ (5) 納税証明書※ (6) 購入品見積書 (写し) (7) 施工図面、完成予想図 (施工の箇所、数量等が分かるもの) (8) 現場写真 (建物外観、施工箇所等)	様式第1号の別紙3 様式第1号の別紙4 様式第1号の別紙5 様式第1号の別紙6

※申請者が施主以外の場合は、申請者、施主の計2枚を提出すること

【担当者連絡先】  
部署名： 〇〇部〇〇課  
役職： 〇〇マネージャー  
氏名： 博多 花子  
電話： 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
FAX： 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
E-mail： 〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇

事業計画書

記入例

1 申請者等

事業概要等	施主 ※1	株式会社△△ホテル		
	施主住所 ※1	福岡県北九州市△番地△-△		
	施工場所	施設名	△△ホテル	
		施設所在地	福岡県北九州市△番地△-△	
	施設の年間利用者数 ※2 (見込み)	10,000名		
	使用する工芸品	【品名】 久留米緋ブラインド	【数量】	5m×12m、1個
	工芸品の活用方法	久留米緋のブラインドを設置		
	伝統工芸品の情報発信方法	自社ホームページ、館内しおりに購入品の紹介を掲載。 あわせて館内デジタルサイネージでも紹介。		
	事業費 (税込)	11,000,000円		
	補助対象額 (税抜)	10,000,000円		
	補助申請額	5,000,000円		
事業期間	着工	令和4年8月1日		
	施工完了	令和4年10月31日		
	支払完了日	令和4年11月30日		

※1 申請者と同じ場合は記入不要

※2 設置する空間がその他空間と明確に分かれているなど、当該空間の利用者数が個別に集計できる場合はその見込数を括弧書きすること

2 事業実施スケジュール (どのようなスケジュールで進めていくのか簡単に記入してください)

実施項目\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
契約				→								
発注					→							
施工						→						
支払								→				

(注) 複数の内装を導入する場合は、別葉としてください。

## 経費内訳書

(単位：円)

種 別	内 容	事 業 費 (税込)	補助対象額 (税抜)	補助金 交付申請額
建物費				
	小計			
構築物費				
	小計			
建物付属設 備費				
	小計			
工具・器具 ・備品 ・消耗品費	久留米絨ブラインド	4,400,000	4,000,000	
	小計	4,400,000	4,000,000	
委託料				
	小計			
その他 経費	ブラインド設置工事	6,600,000	6,000,000	
	小計	6,600,000	6,000,000	
合 計		11,000,000	10,000,000	5,000,000

※「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち補助対象となる経費（消費税抜き）を記載すること。

※支出種別のうち該当しないものについては欄を削除可能

※「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうちで補助金の交付を希望する額で、「補助対象経費」の合計に補助率を乗じた額以内（千円未満は切り捨てること。）とすること。

記入例

収支予算書

収 入

(単位:円)

区 分	金 額
県 補 助 金 (千円未満切り捨て)	5, 000, 000円
自 己 資 金	6, 000, 000円
合 計	11, 000, 000円

支 出

(単位:円)

区 分	種 別	事業費 (税込)	補助対象額 (税抜)	補助金申請額	備 考
事業費	建物費			/	
	構築物費			/	
	建物付属 設備費			/	
	工具・器具・ 備品・消耗品費	4,400,000	4,000,000	/	
	委託料			/	
	その他経費	6,600,000	6,000,000	/	
合 計		11,000,000	10,000,000	5,000,000	

※補助対象事業についてのみ記載

**記入例**  
**(申請者が施主以外の場合)**

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金利用同意書

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金の申請にあたり、事業計画および下記の内容について施工（設計）事業者から説明を受け、その内容について同意しました。

令和4年 5月 1日

押印又は署名（自署）

施主 住所 福岡県北九州市△番地△△△  
名称 株式会社△△ホテル  
代表者職氏名 代表取締役 △△ △△  
(自署又は記名押印)

印

記

本事業における補助金の申請、事業報告等一連の手続きは 株式会社〇〇工務店 が行います。



記入例  
(申請者が施主以外の場合)  
※施主用

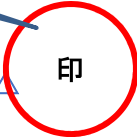
誓約書

令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

押印又は署名 (自署)

誓約者 住 所 福岡県北九州市△番地△-△  
名 称 株式会社△△ホテル  
代表者職氏名 代表取締役 △△ △△  
(自署又は記名押印)



「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金の交付申請に当たり、誓約者及び誓約者の全役員は下記のことを誓約します。

この誓約の内容と事実が反することが判明した場合は、当該事実に関して福岡県が行う一切の措置に対して異議の申立てを行いません。

なお、補助金の交付決定後にこの誓約の内容と事実が反することが判明し、交付決定の全部又は一部が取り消された場合には、福岡県に対し、当該補助金の全部又は一部を返還します。

また、この誓約書の内容について、福岡県が福岡県警察本部に照会することを承諾します。

記

- 誓約者は、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団ではありません。
- 誓約者は、法第2条第6号に規定する暴力団員が役員等になっている団体ではありません。
- 誓約者は、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者が役員等になっている団体ではありません。
- 誓約者及び誓約者の役員等は、次に掲げる暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する団体ではありません。
  - 暴力団員が事業主又は役員に就任している団体
  - 暴力団員が実質的に運営している団体
  - 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用している団体
  - 契約の相手方が暴力団員であることを知りながら、その者と商取引に係る契約を締結している団体
  - 暴力団又は暴力団員に対して経済上の利益又は便宜を供与している団体
  - 暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係を有している団体
- 誓約者が実施する事業(事業の準備を含む。)により暴力団を利することとならないようにするとともに、県が実施する暴力団の排除に関する施策に協力します。
- 上記のほか、関係法令を遵守するとともに、暴力団の排除を推進し、県民の安全で平穏な生活の確保及び福岡県における社会経済活動の健全な発展に寄与します。

記入例  
(申請者が施主以外の場合)  
※申請者用

誓約書

令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

押印又は署名 (自署)

誓約者 住 所 福岡県福岡市〇番地〇-〇  
名 称 株式会社〇〇工務店  
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
(自署又は記名押印)

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金の交付申請に当たり、誓約者及び誓約者の全役員は下記のことを誓約します。

この誓約の内容と事実が反することが判明した場合は、当該事実に関して福岡県が行う一切の措置に対して異議の申立てを行いません。

なお、補助金の交付決定後にこの誓約の内容と事実が反することが判明し、交付決定の全部又は一部が取り消された場合には、福岡県に対し、当該補助金の全部又は一部を返還します。

また、この誓約書の内容について、福岡県が福岡県警察本部に照会することを承諾します。

記

- 1 誓約者は、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団ではありません。
- 2 誓約者は、法第2条第6号に規定する暴力団員が役員等になっている団体ではありません。
- 3 誓約者は、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者が役員等になっている団体ではありません。
- 4 誓約者及び誓約者の役員等は、次に掲げる暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する団体ではありません。
  - (1) 暴力団員が事業主又は役員に就任している団体
  - (2) 暴力団員が実質的に運営している団体
  - (3) 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用している団体
  - (4) 契約の相手方が暴力団員であることを知りながら、その者と商取引に係る契約を締結している団体
  - (5) 暴力団又は暴力団員に対して経済上の利益又は便宜を供与している団体
  - (6) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係を有している団体
- 5 誓約者が実施する事業(事業の準備を含む。)により暴力団を利することとならないようにするとともに、県が実施する暴力団の排除に関する施策に協力します。
- 6 上記のほか、関係法令を遵守するとともに、暴力団の排除を推進し、県民の安全で平穏な生活の確保及び福岡県における社会経済活動の健全な発展に寄与します。

記入例  
(申請者が施主以外の場合)  
※施主用

様式第1号の別紙5

事業者名 株式会社△△ホテル

役員名簿

役職名	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
			日
			日
			日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日

役員全員を記載してください。

※個人事業主の方も提出が必要です。ご本人の氏名等を記載してください。

(注) 申請者が施主以外の場合は、申請者、施主それぞれの役員名簿を提出すること

記入例  
(申請者が施主以外の場合)  
※申請者用

様式第1号の別紙5

事業者名 株式会社〇〇工務店

役員名簿

役職名	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
			年 月 日
			年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日
		男・女	T・S・H 年 月 日

役員全員を記載してください。

※個人事業主の方も提出が必要です。ご本人の氏名等を記載してください。

(注) 申請者が施主以外の場合は、申請者、施主それぞれの役員名簿を提出すること

**記入例**  
**(申請者が施主以外の場合)**  
**※施主用**

令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

申請者 住 所 福岡県北九州市△番地△-△  
名 称 株式会社△△ホテル  
代表者職氏名 代表取締役 △△ △△  
(自署又は記名押印)

印

押印又は署名 (自署)

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金に係る確認書

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金について、補助金の交付の決定を受けた場合は、下記の事項を約する。

記

- 1 福岡県補助金等交付規則、「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付要綱の規定に基づき、補助事業を実施します。
- 2 補助金の交付の決定を受けた日から補助事業の完了した日の属する県の会計年度の終了後5年が経過するまでの間、福岡県が行う当該補助金に関する検査および調査について協力します。
- 3 福岡県から補助事業の成果等についての発表等を求められたときは、それに協力します。

記入例  
(申請者が施主以外の場合)  
※申請者用

様式第1号の別紙6

令和4年 5月 1日

福岡県知事 殿

申請者 住 所 福岡県福岡市〇番地〇-〇  
名 称 株式会社〇〇工務店  
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇  
(自署又は記名押印)

印

押印又は署名 (自署)

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金に係る確認書

「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金について、補助金の交付の決定を受けた場合は、下記の事項を約する。

記

- 1 福岡県補助金等交付規則、「福岡の伝統工芸品」を中心としたおもてなし空間創出事業費補助金交付要綱の規定に基づき、補助事業を実施します。
- 2 補助金の交付の決定を受けた日から補助事業の完了した日の属する県の会計年度の終了後5年が経過するまでの間、福岡県が行う当該補助金に関する検査および調査について協力します。
- 3 福岡県から補助事業の成果等についての発表等を求められたときは、それに協力します。

# 記入例

令和4年 5月 1日

申請者 住所 福岡県福岡市〇番地〇-〇  
名称 株式会社〇〇工務店  
代表者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印  
(自署又は記名押印)

「福岡の伝統工芸品」証明書

押印又は署名 (自署)

下記施設に設置された商品（建材等）は、「福岡の伝統工芸品」（の技術・技法を活用したもの）であることを証明します。

## 記

- 1 補助事業者 株式会社〇〇工務店
- 2 設置場所 △△ホテル
- 3 商品名 博多人形
- 4 使用数量 5個

証明者 住所 福岡県福岡市◇番地◇-◇  
名称 ◇◇◇◇組合  
代表者職氏名 ◇◇ ◇◇ 印  
(自署又は記名押印)

押印又は署名 (自署)

### (注)

- 1 各産地組合等または伝統工芸事業者による証明に限る
- 2 数量がわかる書類を添付すること（納入書等）